



高槻市 都市計画マスタープランの改定に向けた「五領地区」の要望

3月16日に地区別懇談会 報告会の開催が新型コロナウイルス感染症の拡大防止の方針から中止となりました。

イオン等での地区別懇談会と称するアンケート結果の取り纏め内容では、具体性が見えて来ません。

つきましては、五領地区として複合施設という捉え方も含めた要望を取り纏めましたので、次期マスタープランに取り上げて頂きますよう要望申し上げます。

1. 要望

1) 土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・五領地区内での無秩序な農地の開発規制の強化。 ・無秩序な市街化と環境を汚染する事業の進出を抑制し、地域の特性に合った計画的な土地利用。 ※住民の意見を十分取り入れた土地利用を望みます。
2) 道路・交通体系等	<ul style="list-style-type: none"> ・新名神高架下の利用（高齢者、子どもが利用できる公園等の設置） ・十三高槻線の整備に伴い、バスルートの見直し（道鶴町から前島へ延伸） ・梶原地区でのバスルートの見直し（西京バイパス、萩之庄梶原線、JRアンダーボックス設置を見据えて）
3) 都市施設等	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設（避難所を兼ねた防災機能、高齢者・一般・子育て世代が集える場所、図書館、集会室）の設置 ・JR新駅設置に関しては現時点で賛否両論があります。（萩之庄・梶原地区） ・新名神工事終了後の淀川河川内の緑地環境（ヨシの保全含む）の整備。
4) 安全・安心な都市づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・水害時の避難所の設置。（五領公民館等、現在の全避難所は浸水地域） 五領地区は東西4kmと広く、3地区に夫々浸水しない避難所が望まれる。 ①上牧駅～淀の原町・東上牧・上牧地区： 活用地として・五領保育所跡・上牧駅前自転車置き場の見直し・島本し尿処理場跡地・内が池横（新名神工事事務所の跡地利用）等を利用した複合施設（避難所を兼ねた防災機能、高齢者・一般・子育て世代が集える場所、図書館、集会室） ②五領町～梶原・萩之庄地区： 西国街道沿い等安全な場所（民間施設活用も考察） ③前島・道鶴町地区： エネルギーセンターを避難所に活用。 ※警戒レベル3で開設される安全な避難所への早期避難が今、求められています。
5) 自然環境の保全等	<ul style="list-style-type: none"> ・内が池周辺の散歩道の整備（桜木等の植樹による楽しめる空間） 池中央に浮島があれば、野鳥の飛来も期待できる。（池の淵がコンクリートで固められ、自然が破壊されている。）

2. 要望する背景

五領地区は、関電・変電所の鉄塔・高圧線網、前島のエネルギーセンター、民間の廃棄物焼却施設、十三高槻線、東道路、新名神高架、牧野高槻線（地元は反対）と、地域がズタズタにされた状況を受入ざるを得ない状況です。加えて、上牧駅前の行政サーピスの撤退、神南備公園内の図書館予定地は認定こども園（五領・上牧幼稚園、五領保育所の合理化）となり、文化施設と呼べるものは1つとしてありません。また、檜尾川決壊のリスクにさらされながら、浸水しない避難所がありません。このような地域で防災機能を備えた複合施設を望むことが賛沢なのでしょうか。